

スケジュール

Day 1	午前	オリエンテーション	JVTA
		JVTAロサンゼルス校に集合	
		・全体スケジュールの確認 ・施設紹介 ・授業および滞在中の注意事項 ・参加者同士の交流会	
9/9 (火)	午後	通訳のためのコミュニケーション	ロレイン・フクワ先生
		教科書には載っていない、ネイティブの生きた英語を学ぶ	
		通訳には英語理解力と的確な表現力、伝達力が不可欠です。英語ネイティブが多用する表現を学び意味やニュアンスを捉えることは、理解力とより自然な表現力を養います。ネイティブ講師の指導で、発音とイントネーションを矯正し伝達力を高め、スピーキング力を鍛えて、通訳パフォーマンスを向上させましょう。	

Day 2	午前	通訳トレーニング	ディッキンソン佐恵子先生
		通訳スキルの基礎トレーニング ～弱点を見える化し、英語力強化にもつなげる～	
		通訳の専門的な訓練は、英語力の底上げにも非常に効果的。リピーティング、シャドーイング、ヘンドリックス、クイックリ spons ンスなど、通訳者が日常的に行う基本トレーニングを実践し、弱点を“見える化”します。「どここの理解があいまいなのか」「どこでつまずくのか」などのポイントを確認することで、強化すべき課題が明確になります。	
9/10 (水)	午後	通訳トレーニング	オルセン由紀先生
		即座に訳す、処理スピードを上げるには ～意味のかたまりで捉える力を鍛える～	
		通訳に必要なのは、「素早い読解力」と「即座に言葉を出す力」です。スラッシュ・リーディングやサイト・トランスレーションを実践しながら、英文を一語一句訳す読み方から、「構造」と「意味のかたまり（チャンク）」を瞬時に把握する読み方へとシフトさせることで、処理スピードと精度を高めることを目指します。	

Day 3	午前	通訳トレーニング	ディッキンソン佐恵子先生
		メモ取り・リテンション強化トレーニング ～「聞こえたのに訳せない…」をなくすために～	
		通訳における“記憶力”は、生まれつき持っているものではなく鍛えられるスキルです。正しくメモを取り、記憶を助けることで、情報をしっかり保持し、瞬時に訳す力がついてきます。プロの通訳者が実践しているメモの技術や、記憶保持のトレーニング法を、実践形式で身につけます。	
9/11 (木)	午後	通訳トレーニング	オルセン由紀先生
		日本語⇄英語スイッチの極意 ～日英切り替え術と通訳マインド	
		構造も文化も異なる日本語と英語。直訳しようとしてつまずくのは当然です。本質を伝える通訳に必要なのは、「マインドセットの切り替え」。言葉だけでなく“意味”を運ぶ通訳者になるために、思考の切り替え方と、その実践トレーニングを行います。	

Day 4	午前	通訳トレーニング	ディッキンソン佐恵子先生
		未知語・想定外への対応力 ～現場で焦らないための“引き出し”を増やす	
		知らない単語、予想外の話題、突然の変更など実際の通訳現場は想定外の連続です。訳語が出てこないときにどうするか？状況判断力、言い換え力、臨機応変に対応するスキルを、プロの実体験とともに学び、「引き出し」を増やしていきます。	
9/12 (金)	午後	通訳トレーニング	オルセン由紀先生
		模擬通訳演習とフィードバック ～100回の練習より、1回の“現場”	
		実際の場面を想定した通訳演習に挑戦！緊張感の中でどれだけ実力を発揮できるか。本番さながらの実践が、通訳者としての成長を大きく後押しします。講師からのリアルタイムフィードバックを通して、自分の課題が明確になり、次のステップへとつながります。	

Day5	午前	通訳トレーニング	オルセン由紀先生	
		模擬通訳演習とフィードバック 応用編		
		実際の場面を想定した通訳演習に引き続き挑戦します！前日に講師から受けたフィードバックや学びを踏まえて、指導されたことを反映させた、より完成度の高いパフォーマンスを目指しましょう！このプログラム最後の授業なので、疑問などが残らないように積極的に質問をして、翌日の映画祭に備えましょう。		
9/13 (土)	午後	・映画祭への参加に向けたオリエンテーション	・プログラムのクロージング・パーティー	JVTA
		オリエンテーション		
		・スケジュール確認 ・映画祭で担当する役割 ・サポート内容の確認 クロージング・パーティー		

Day 6	終日	Japan Film Festival LAに参加	JVTA
		映画祭の会場に集合 各自、役割に応じて、運営・来場客のサポート	

※講師および授業内容などは予告なしに変更されることがあります。
※始業後、講師はクラスの状況をみて教材等を調整・変更することがあります。